

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2.4.5.	地域の方々・家族との関係や関わりなどの協力体制の維持と事業所内開催の資料作成時の留意点の理解	地域住民や近隣の施設などとの交流や情報交換の機会など、日頃の関係作りを積極的に働きかけ今後も維持していく際の資料作りや、作成時に考慮する内容を検討・統一する	運営推進会議や地域の行事等への積極的な参加や促しを行い、地域からの理解を高めながら地域包括支援センターや管轄行政との連携を図り、その際に提出する書類事項への記載方法を改善・明確にしていく	継続的に
2	28.29	火災や地震、水害等の災害時のための事業継続計画(BCP)をより現状に即した形で作成できるように検討していく必要性が大きい	地域の関係者と共に支援・協力を得られるように働きかけながらも関係先への必要な情報提供を事前に準備・報告をしてスムーズな協力体制を得られるように努めていく	避難誘導マニュアルの作成・見直し・検討を行い、制度改正に伴い指定基準に係る事項となっているのでそこに向けて定期的にスタッフ一同、外部研修・内部研修などを積極的に行い現状に即した形での事前準備が出来るように検討していく	継続的に
3	6.27	身体拘束に関するマニュアルや指針内容・重度化や終末期のあり方についての記載方法や説明の明記方法への検討	施設内での多様な対応方法など随時場面によって変化していく事項についてトラブルにならないように、より明確的に契約内容や説明事項内容を詳細にしていく	今後、重要事項説明書及び、契約書に、「身体拘束に関する項目、健康等で重度化した場合や終末期のあり方について」記載・明記していく内容を検討していく	継続的に
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。